

NPO 法人コスモ夢舞台

フクロウだより

HP版



Vol.11 第3号

2020年 5月15日

<事務局から>

新型コロナウィルスの感染拡大防止に揺れる毎日ですが、気が付ければ新緑のまぶしい季節となってまいりました。

皆さまにはいかがお過ごしでしょうか？

昨夜（5/14）、政府から緊急事態宣言を全国の39県で解除すると発表がありました。しかし、首都圏の一都三県、関西圏の二府一県と北海道は解除されませんでした。まだまだ、日常的な外出や地方への移動は自粛が求められるようです。

緊急事態宣言の解除された新潟県下の豊実では今、第2回「奥阿賀国際アートフェスタ」を予定通り（5/18～6/28）開催するための準備が進められています。

佐藤さんは、「こんなご時世だけに、状況の許される一人でも多くの皆さんに足を運んでもらいたい。コロナ後の新しい生き方のヒントが見つかるかもしれません」と呼びかけています。

そんな折、2019年度の「第27回EUジャパンフェスト公式報告書」が届きました。ありがたいことに、昨年の第一回「奥阿賀国際アートフェスタ」が掲載されています。大きな写真はプレオープニングイベントの森の中の会場風景で、佐藤さんとマキ子さん、鈴木さんと小宮さんの顔も見えます。

また、開催前日（5/17）にはコスモ夢舞台の通常総会があります。こちらも地元の会員と関東方面の参加できない会員の委任状で大会成立が見込まれています。小宮さんが関係資料の作成に大忙しです。

尚、総会委任状をまだ提出されていない方は
〒959-4304 新潟県東蒲原郡阿賀町豊実乙1036
佐藤賢太郎 あてに郵送をお願いいたします。

（森絢一）

<直近のイベント予定>

○2020年度通常総会：5月17日（日）13:00～ 和彩館

○第2回奥阿賀国際アートフェスタ：5/18（月）～6/28（日）

*ワークショップ：5/18（月）13:00～ 第1&第2会場

*トークショー：6/28（日）14:00～ 第1会場

The 1st Oku-Aga International Art Festival

第1回奥阿賀アートフェスタ



All kinds of art emergent in the midst of nature

Over fifty people from around the world have already been drawn to the Toyomi region of Agamachi in Niigata prefecture through the WWOOF Japan program of homestays with organic farm households. The non-profit Cosmo Yume Butai held its first Okuaga Art Festa with the aims of art creation and also young people visiting from overseas discussing with Japanese people their shared values and different ways of thinking. In this natural setting participants produced work,

each to their taste, combining large planks or painting on scrap wood. A symposium saw the participation of 14 people in all, including sculptor Kentaro Sato, leader of Cosmo Yume Butai who took part in European Capital of Culture Patras 2006 in Greece, teachers who provide instruction in English at local schools and young people, who discussed their thoughts on "enjoying art" regardless of scale.

自然の中で生まれる、さまざまな「アート」

新潟県阿賀町豊美地区には、「WOOFジャパン」という有機農家へのホームステイ活動を通して、これまでにすでに50人以上の若者が世界中から集まっています。国外からやってきた若者たちと、日本人の考え方の違いや共通する価値観について語り合い、ともにアート作品を創ろうと、NPO法人コスモ夢舞台が開催した第1回奥阿賀国際アートフェスタ。参加者は大自然のなかで大きな板や原木などを組み合わ

せたり、ペインティングをしたりして、思い思いの作品をつくりあげました。シンポジウムでは、コスモ夢舞台の主宰であり、歐州文化首都バトラス2006(ギリシャ)に参加した彫刻家、佐藤賢太郎氏をはじめ、地元の学校で英語を教えている教師や若者など合計14人が参加し、規則にとらわれずに「アートを楽しむ」ことについての想いを語り合いました。